



メイメイ、曲芸師／中国 2005年

TITOUAN LAMAZOU

行幸地下ギャラリー
(東京・丸の内)

2/27 sat → 3/31 wed

日本経済新聞社東京本社2階
SPACE NIO
(平日10:00~18:00のみ開館)

地球に生きる女性たち — テイトウアン・ラマズー展

●観覧無料



T-fal



AIRFRANCE

L'OCCITANE



主催●フランス大使館、Culturesfrance、日本経済新聞社 特別協賛●ダノンジャパン 協賛●グループセブジャパン、ピエール・ガニエール(ANAインターコンチネンタルホテル東京 36階)、エールフランス航空、大日本印刷、ロクサン ジャパン、住友生命、凸版印刷
特別協力●三金地所 後援●大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会 協力●国際連合広報センター、日経ホール 制作協力●大日本印刷、東京ステディオ 広野●バンドラ

ユネスコの「平和のためのアーティスト」にも選ばれ、世界中を旅して世界の女性たちの素顔を写真、デッサン、映像に残すティトゥアン・ラマズー氏の作品を展示します。女性の特徴の中にある無限の多様性を表現する作品群です。全長220メートルにわたる「行幸地下ギャラリー」には約100点の作品を展示し、日経の「SPACE NIO」では、その一部を紹介します。



ネリダ、美しき混血児／ブラジル 2004年



コブラ、ハザラ人の未亡人／アフガニスタン 2004年



キャンブに身を寄せるダルフルのザガワ難民／アフリカ 2004年



©DR

ティトゥアン・ラマズー
Titouan Lamazou

1955年モロッコのカサブランカ生まれ。アーティスト、作家、航海者。17歳で国立美術学校入学したが航海に方向転換。数々のヨットレースで優勝。その後世界を旅しながら旅行記などを制作。さらに世界の女性を描き続ける。2003年、ユネスコの「平和のためのアーティスト」に任命され、ユネスコは展覧会「FEMMES DU MONDE」(=Women of the World、世界の女性たち)を支援することを決定した。ユネスコは人道的な見地から、またそのプロジェクトを特徴付ける文化の多様性という意味からも彼の作品・展覧会を価値あるものと見なしたのである。



SPACE **NIO**

- 大手町駅 地下鉄「大手町駅」下車C2b出口直結
- 東京メトロ 千代田線、丸の内線、半蔵門線、東西線
- 都営地下鉄 三田線
- 竹橋駅 ■東京メトロ 東西線

無料巡回バス「丸の内シャトル」

「日経ビル」下車

<http://www.hinomaru.co.jp/metrolink/marunouchi/index.html>



「Femmes@Tokyo」はアートイベントのほかに多彩なイベントを開催します!

- 日仏女性フォーラム『女たちのダイアログ——私は見つめる、書く』
3/7(日)、8(月)、9(火)……日経ホール 入場無料、事前登録制、2月20日(土)締め切り
- フランス映画特別上映『女たちの記憶——私は愛する、生きる』
2/28(日)～3/1(月)……日経ホール 前売券一般・1300円/チケットぴあにて発売中
- 音楽イベント『ヴァイオリンとトークの夕べ——感性の目覚め』
4/3(土)17:00～18:30…新丸ビル3階アトリウム (東京・丸の内)
入場無料、事前登録制、3月8日(月)より募集開始

カトリーズ・ドヌーヴ
来日決定!

詳細は <http://femmes.exhn.jp>

国際女性の日イニシアティブ
Femmes
@
Tokyo
ファム@トウキョウ

「Femmes@Tokyo」事務局

〒101-0061 千代田区三崎町3-1-8 天野ビル2F

TEL.03-5211-6883

FAX.03-5211-1408

e-mail: femmes@adnap.jp